



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヒラノテクニード

コード番号 6245 URL <http://www.hirano-tec.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 松葉茂美

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務担当

(氏名) 定安一男

TEL 0745-57-0681

四半期報告書提出予定日 平成26年11月11日

配当支払開始予定日

平成26年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	7,084	△64.8	420	△87.4	455	△86.5	324	△84.0
26年3月期第2四半期	20,146	180.1	3,337	368.2	3,384	359.2	2,033	338.3

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 410百万円 (△80.2%) 26年3月期第2四半期 2,071百万円 (416.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	21.60	—
26年3月期第2四半期	135.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	26,565	20,014	75.3
26年3月期	29,313	19,694	67.2

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 20,014百万円 26年3月期 19,694百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	13.00	—	17.00	30.00
27年3月期	—	5.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,500	△49.1	530	△85.1	600	△83.5	420	△80.2	27.92

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	15,394,379 株	26年3月期	15,394,379 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	349,871 株	26年3月期	349,728 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	15,044,598 株	26年3月期2Q	15,044,795 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、上記業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の2ページから3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
5. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部で消費税増税に伴う駆け込み需要の反動なども影響し、消費が落ち込みましたが、内需の下支えや雇用情勢が安定していることから景気は概ね回復基調となりました。しかし、後半には為替が急激に変動する場面もあり、円安に伴う原材料や燃料の価格高騰が企業業績に影響を与えるなど先行き不透明な状況で推移いたしました。

また、海外において欧米では先進国を中心として景気は回復傾向にありますが、アジア経済では、経済成長の鈍化や設備過剰も懸念されるなど、不安定な状況であり、当社の業界における新規設備投資も依然として本格的な回復には至っておりません。

このような状況のもと、当社グループは、お客様に価値ある技術を創出し続けるべく、徹底した品質の管理のもと「構造の変化に迅速に対応」をスローガンにコスト・技術・ものづくりにおける改革のスピードアップを推し進めてまいりましたが、昨年来の受注環境悪化等の要因により売上高は低調となり、利益につきましてもコスト改善による原価率低減効果はあったものの低調に推移いたしました。

受注状況につきましては、厳しい受注環境のもとではありますが、光学機能性フィルム製造装置や粘着テープ塗工装置を中心に推移いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,084百万円（前年同期比64.8%減）となり、利益面では営業利益は420百万円（前年同期比87.4%減）、経常利益は455百万円（前年同期比86.5%減）、四半期純利益は324百万円（前年同期比84.0%減）となりました。

受注残高につきましては、10,214百万円（前期末比14.2%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(塗工機関連機器)

当セグメントは、光学機能性フィルム製造装置関連を中心に推移いたしました。

その結果、売上高は3,942百万円（前年同期比15.4%増）となりました。また、セグメント利益は295百万円（前年同期比26.2%減）となりました。

受注残高につきましては、6,176百万円（前期末比9.8%減）となりました。

(化工機関連機器)

当セグメントは、電気・電子部材向け成膜装置を中心に低調に推移いたしました。

前期好調であった真空薄膜装置の反動もあり、売上高・利益共に大きく減少いたしました。

その結果、売上高は2,541百万円（前年同期比84.5%減）となりました。また、セグメント利益は358百万円（前年同期比89.0%減）となりました。

受注残高につきましては、3,733百万円（前期末比18.1%減）となりました。

(その他)

当セグメントは、染色整理機械装置、各種機器の部品の製造及び修理・改造等を行っております。

売上高は600百万円（前年同期比80.3%増）となりました。また、セグメント利益は140百万円（前年同期比86.9%増）となりました。

受注残高につきましては、304百万円（前期末比38.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べ3,152百万円減少し、19,899百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が349百万円、仕掛品が345百万円それぞれ増加する一方、現金及び預金が1,821百万円、有価証券が1,932百万円それぞれ減少したことによります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ403百万円増加し、6,665百万円となりました。その主な要因は、投資有価証券が424百万円増加したことによります。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べ2,726百万円減少し、5,479百万円となりました。その主な要因は支払手形及び買掛金が352百万円、未払法人税等が1,264百万円、前受金が177百万円それぞれ減少したことによります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ340百万円減少し、1,071百万円となりました。その主な要因は、長期借入金が184百万円、退職給付に係る負債が251百万円それぞれ減少したことによります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べ319百万円増加し、20,014百万円となりました。その主な要因は、四半期純利益を324百万円、退職給付に関する会計基準等の適用に伴う影響額を164百万円それぞれ計上したこと及び前連結会計年度に係る期末配当金を255百万円支払ったこと、その他有価証券評価差額金が87百万円増加したことによります。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって使用されたキャッシュ・フローは2,307百万円(前年同期は124百万円の支出)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が455百万円になったこと及び、売上債権が526百万円、たな卸資産が359百万円それぞれ増加したこと、未払消費税等が363百万円減少したこと、法人税等を1,363百万円支払ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって使用されたキャッシュ・フローは2,510百万円(前年同期は532百万円の支出)となりました。これは主に、定期預金を601百万円預入れ、有形固定資産の取得により508百万円支出し、有価証券の取得により3,075百万円支出があったこと及び、有価証券を売却したことにより2,112百万円の収入があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって使用されたキャッシュ・フローは500百万円(前年同期は138百万円の収入)となりました。これは主に、長期借入の約定弁済を270百万円行ったこと、また、配当金の支払を255百万円行ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成26年5月9日に公表しました通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成26年10月31日に公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

また、当社が販売する塗工機関連機器及び化工機関連機器等は受注生産であり、顧客の指定納期や発注時期も様々であります。よって各四半期において売上高及び受注高が同水準とならない場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35条本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37号に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が230,609千円減少し、利益剰余金が164,461千円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,756,272	7,934,971
受取手形及び売掛金	5,073,001	5,422,581
有価証券	4,956,714	3,023,972
仕掛品	2,753,687	3,099,420
原材料及び貯蔵品	91,895	89,279
その他	422,868	332,224
貸倒引当金	△2,451	△2,536
流動資産合計	23,051,987	19,899,914
固定資産		
有形固定資産	3,687,790	3,589,624
無形固定資産	151,609	132,727
投資その他の資産		
投資有価証券	2,097,338	2,522,145
その他	324,954	421,006
貸倒引当金	△99	△99
投資その他の資産合計	2,422,192	2,943,052
固定資産合計	6,261,593	6,665,404
資産合計	29,313,580	26,565,318

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,941,969	3,589,424
短期借入金	—	27,500
1年内返済予定の長期借入金	540,660	454,612
未払法人税等	1,355,288	91,228
前受金	826,360	649,338
賞与引当金	180,198	182,454
製品保証引当金	39,423	20,976
その他	1,322,277	463,836
流動負債合計	8,206,178	5,479,370
固定負債		
長期借入金	516,140	331,420
役員退職慰労引当金	141,490	152,547
退職給付に係る負債	740,808	489,498
資産除去債務	10,027	10,139
その他	4,035	88,033
固定負債合計	1,412,501	1,071,638
負債合計	9,618,679	6,551,009
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,847,821	1,847,821
資本剰余金	1,339,722	1,339,722
利益剰余金	16,733,741	16,967,367
自己株式	△407,012	△407,148
株主資本合計	19,514,273	19,747,762
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	313,148	400,258
退職給付に係る調整累計額	△132,520	△133,712
その他の包括利益累計額合計	180,627	266,546
純資産合計	19,694,901	20,014,309
負債純資産合計	29,313,580	26,565,318

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	20,146,955	7,084,822
売上原価	16,002,911	5,912,194
売上総利益	4,144,044	1,172,628
販売費及び一般管理費	806,741	751,630
営業利益	3,337,303	420,997
営業外収益		
受取利息	4,303	4,548
受取配当金	21,294	26,435
為替差益	12,184	4,332
その他	16,331	12,826
営業外収益合計	54,112	48,142
営業外費用		
支払利息	4,683	5,405
固定資産除却損	1,270	5,361
その他	800	2,457
営業外費用合計	6,755	13,225
経常利益	3,384,661	455,915
特別利益		
受取保険金	50,309	—
特別利益合計	50,309	—
税金等調整前四半期純利益	3,434,970	455,915
法人税、住民税及び事業税	1,408,030	109,531
法人税等調整額	△7,050	21,460
法人税等合計	1,400,979	130,991
少数株主損益調整前四半期純利益	2,033,990	324,923
四半期純利益	2,033,990	324,923

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,033,990	324,923
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,031	87,110
退職給付に係る調整額	—	△1,191
その他の包括利益合計	37,031	85,919
四半期包括利益	2,071,022	410,842
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,071,022	410,842
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,434,970	455,915
減価償却費	191,805	183,751
長期前払費用償却額	6,898	7,505
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,125	2,256
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,583	85
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△39,360	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△48,054	11,057
製品保証引当金の増減額(△は減少)	9,000	△18,446
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	△23,320
受取利息及び受取配当金	△25,597	△30,984
支払利息	4,683	5,405
受取保険金	△50,309	—
固定資産除却損	1,270	5,361
売上債権の増減額(△は増加)	△7,497,525	△526,603
たな卸資産の増減額(△は増加)	4,071,296	△359,515
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,143,272	△283,917
未払金の増減額(△は減少)	172,313	△35,420
未収消費税等の増減額(△は増加)	473,522	△16,701
未払消費税等の増減額(△は減少)	337,849	△363,176
その他	79,081	17,285
小計	△18,968	△969,462
利息及び配当金の受取額	25,776	30,762
利息の支払額	△4,683	△5,405
保険金の受取額	62,584	—
法人税等の支払額	△195,878	△1,363,391
法人税等の還付額	6,259	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△124,910	△2,307,497
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,000	△601,000
定期預金の払戻による収入	2,000	1,000
有価証券の取得による支出	△1,028,016	△3,075,810
有価証券の売却による収入	1,062,000	2,112,000
有形固定資産の取得による支出	△535,919	△508,797
有形固定資産の売却による収入	380	234
無形固定資産の取得による支出	△8,492	△4,152
投資有価証券の取得による支出	△101,336	△301,668
投資有価証券の売却による収入	104,004	3,723
その他	△26,132	△136,058
投資活動によるキャッシュ・フロー	△532,513	△2,510,528

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	40,000	27,500
長期借入れによる収入	450,000	—
長期借入金の返済による支出	△259,448	△270,768
自己株式の取得による支出	△87	△136
配当金の支払額	△90,376	△255,170
その他	△1,543	△1,473
財務活動によるキャッシュ・フロー	138,545	△500,048
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△518,878	△5,318,074
現金及び現金同等物の期首残高	10,215,751	13,533,995
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,696,872	8,215,921

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

5. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
塗工機関連機器	3,546,401	+23.7
化工機関連機器	1,939,810	△85.0
その他	425,981	+85.7
合計	5,912,194	△63.1

(注) 1. 金額は生産原価で、上記の内には外注生産によるものも含んでおります。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注状況

当第2四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前期末比(%)
塗工機関連機器	3,273,298	△42.0	6,176,260	△9.8
化工機関連機器	1,714,058	△51.1	3,733,629	△18.1
その他	406,740	△25.4	304,379	△38.9
合計	5,394,097	△44.3	10,214,268	△14.2

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
塗工機関連機器	3,942,780	+15.4
化工機関連機器	2,541,195	△84.5
その他	600,846	+80.3
合計	7,084,822	△64.8

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。